

井 田 義 則

## 第102回定時株主総会招集ご通知

拝啓 ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、当社第102回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、なにとぞご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、当日ご出席おさしつかえの場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の「議決権の行使についての参考書類」をご検討くださいます、同封の議決権行使書用紙

場 所 東京都品川区南大井 6 丁目26番 1 号  
大森ベルポート A 館  
当社  
( 25頁 ~ 26頁 ) に記載のとおりであります。

第 3 号議案 取締役 7 名選任の件

第 4 号議案 監査役 2 名選任の件

以 上

---

お願い 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

(添付書類)

## 営業報告書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

### 1. 営業の概況

- (1) 営業の経過及び成果(資金調達の状況及び設備投資の状況を含む。)

#### [営業の経過]

当社第102期におけるわが国経済は、デフレの継続に加え、期後半には円高が急進いたしましたものの、設備投資と輸出に支えられ、緩やかに回復してまいりました。

自動車業界におきましては、国内需要は、排出ガス規制強化による買い替え需要によりトラックは大幅に増加いたしましたものの、全体としてはほぼ前年並にとどまり、また、輸出につきましては、前年同期を若干上回りました。

このような状況のなかで、当社は、企業価値の回復と企業競争力強化を目指し、平成14年に策定した「新3カ年計画」(平成17年3月期まで)達成を最重要課題として取り組み、優位性のあるディーゼルエンジン技術を最大限に活かしながら商用車事業に特化し、開発から販売までの機能強化と収益体質の強化を図ってまいりました。

当社が当期に投入した新商品につきましては、小型トラックエルフや大型トラックギガ シリーズに新型トランスミッションを搭載し、経済性や安全性を向上したほか、環境性能を先取りしご好評をいただいている「エルフ-KR」シリーズに、1.5トン積車を追加設定いたしました。また、ギガ シリーズに、新短期(平成16年)排出ガス規制に1年先行して適合させたエンジンを搭載するなどの改良を施し、環境への配慮を図った商品展開を行ってまいりました。このほか、最適な運転操作・省燃費運転を提案する運行診断システムとしてご好評をいただいております「みまもりくん」に、新たにKDDI株式会社との共同開発による最新の通信機能を加え、本格的商用車用テレマティクス(車載端末を介して情報を送受信する機能)「みまもりくんオンラインサービス」として発売いたしました。

事業体制につきましては、マツダ株式会社と、平成16年後半から「エルフ」をOEM供給することで合意したほか、平成15年10月に、日野自動車株式会社と、両社が保有するバス製造子会社の株式を、両社が折半出資するバス事業統合に向けた設立準備会社であるジェイ・バス株式会社に譲渡

し、平成16年10月を目処にバス事業の統合を促進することといたしました。また、川崎工場の機能を藤沢・栃木工場へ移管することを既に決定し、同工場の西側の土地約18ヘクタールを都市基盤整備公団に売却していましたが、この度同工場の東側の土地約18ヘクタールを、平成17年2月に株式会社ヨドバシカメラに売却することといたしました。このほか、経営の一

商品別の販売台数・売上高の内訳は、次の表のとおりであります。

区 分		販 売 台 数	売 上 高	
		台	億円	
車 両	大 型 車 (大型・中型車)	トラック・バス	53,167	2,680
	小 型 車	トラック・バス	179,977	2,918
	計		233,144	5,599
海 外 生 産 用 部 品		-	373	
エ ン ジ ン ・ コ ン ポ ー ネ ン ト		-	1,592	
補 給 部 品 等		-	1,337	
合 計		-	8,903	

損益につきましては、売上高の増加に加え、前期に行った北米事業体制の見直しや要員削減効果などにより、経常利益は前期に比べ526億円（1,079.4%）増加の575億円となりました。また、北米事業構造改革などにもなう関係会社等投資・債権評価損やバス製造子会社の株式譲渡にもなう損失などの特別損失を計上したことなどにより、当期純利益は388億円となりました。

なお、前期よりの繰越損失が1,205億円ございますので、土地再評価差額金取崩後の当期末処理損失の額は、829億円となりました。

以上のように、当期は利益を計上することができましたものの、前期繰越損失もあり、当期の配当金につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、無配とさせていただきたいと存じます。

株主の皆様の平素のご支援とご期待にお応えできず、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

（注）文中においては、億円未満を切り捨てて記載してあります。

(2) 会社が対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、国内経済は緩やかな回復を継続するものと思われませんが、素材価格の上昇や米国経済の減速など、予断を許さない状況にあります。

自動車業界におきましては、当面、国内トラック市場は底堅く推移すると思われませんが、当期の反動による減少が見込まれ、また、円高による輸出への影響や国内外での一層の競争激化など、経営を取り巻く環境は依然として厳しいものと認識しております。

このような状況のなかで、当社は、「新3カ年計画」の最終年度にあたり、体質強化を確実に実行してまいります。さらに、規制対応によるお客様の買い替え一巡などの将来を見据え、グローバルな視点で、製品力・技

1壘陀. p場は底堅烽フ [バ ノ&勘\*リク+X, B\*リイノ







大株主  
(普通株式)

株 主 名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持 株 数	議 決 権 比 率	持 株 数	議 決 権 比 率
	千株	%	千株	%
ゼネラル モーターズ リミテッド	90,090	10.36	-	-
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	65,929	7.58	-	-
バンクオブニューヨーク フォーゴールドマンサックス インターナショナル エグジティブ	33,230	3.82	-	-
株式会社みずほグローバル	31,841	3.66	-	-
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	19,842	2.28	-	-
伊藤忠商事株式会社	17,216	1.98	-	-
東京海上火災保険株式会社	10,296	1.18	-	-
いすゞ自動車協力企業持株会	10,156	1.17	-	-
大阪証券金融株式会社	10,012	1.15	-	-



### (3) 主要な借入先

借 入 先	借 入 金 残 高	当該借入先が有する当社の株式	
		持 株 数	議 決 権 比 率
株 式 会 社 み ず ほ グ ロ ー バ ル	134,416 <sup>百万円</sup>	133,230 <sup>千株</sup>	3.66 <sup>%</sup>

(注) 1. 百万円・千株未満は、切り捨てて表示してあります。

2. 株式会社みずほグローバルが所有する当社の株式数には、種優先株式および種優先株式がそれぞれ25,694千株、種優先株式および種優先株式がそれぞれ25,000千株含まれております。

### (4) 企業結合の状況

#### G M社との状況

昭和46年7月にGM社と資本ならびに業務提携を行って以来、多方面にわたって提携関係の強化・発展を図ってまいりました。

なお、GM社の100%子会社であるゼネラル モーターズ リミテッドは、当社の発行済普通株式総数の10.26%にあたる90,090,000株（総議決権数の10.36%）を所有しております。

## 重要な子会社

子会社93社のうち重要なものは、次の10社であります。

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
いすゞ自動車近畿株式会社	6,000 百万円	100.00 %	自動車販売
いすゞ自動車東海株式会社	4,340 百万円	100.00	自動車販売
神奈川いすゞ自動車株式会社	4,000 百万円	100.00	自動車販売
東京いすゞ自動車株式会社	1,050 百万円	100.00	自動車販売
いすゞライネックス株式会社	800 百万円	100.00	倉庫・運送取扱
いすゞ モーターズ アメリカ インク	406,738 千米ドル	100.00	自動車輸入・販売
いすゞ モーターズ アジア リミテッド	73,872 千米ドル	100.00	自動車輸入・販売
いすゞ モーターズ アクセプタンス コーポレーション	28,000 千米ドル	100.00	自動車販売金融・リース
いすゞ タイランド カンパニー リミテッド	1,300 百万バーツ	100.00	自動車輸入・販売
	千豪ドル		

8 4p@H . 7

## 重要な関連会社

関連会社56社のうち重要なものは、次の8社であります。

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
株 式 会 社 イ フ コ	6,000 百万円	20.00 %	自動車販売金融・リース
いすゞバス製造株式会社	4,500 百万円	-	バス製造・販売
自 動 車 鋳 物 株 式 会 社	1,480 百万円	31.55	自動車用鋳物・部品および 建設機械・産業車両用鋳 物・部品製造・販売
自動車部品工業株式会社	1,114 百万円	28.58	自動車部品製造・販売
T D F 株 式 会 社	1,199 百万円	24.49	鍛工品および鍛工品用金型 の製造・販売
日本フルハーフ株式会社	1,002 百万円	34.00	被牽引車、各種自動車用車 体製造・販売
いすゞ モーターズ ポルスカ エスピー ズィーオーオー	194,492 千ズロチ	-	エンジン製造・販売
ディーマックス リミテッド	100,000 千米ドル	40.00	エンジン製造・販売

- (注) 1. 当社は、いすゞバス製造株式会社の持株会社であるジェイ・バス株式会社の議決権の50%を所有しております。
2. 当社は、いすゞ モーターズ ポルスカ エスピー ズィーオーオーの持株会社であるI S P O L - I M Gホールディングス ビー ブイの議決権の40%を所有しております。
3. 百万円・千ズロチ未満は、切り捨てて表示してあります。



## (7) 取締役及び監査役

地 位	氏 名	担 当 又 は 主 な 職 業
代 表 取 締 役 代 取 締 役 社 長	井 田 義 則	
代 表 取 締 役 代 取 締 役 副 社 長	ベ イ ジ ル エ ヌ ス ド ロ ッ ソ ス	管理本部長
取 締 役 副 社 長	当 麻 茂 樹	C F O ( 最 高 財 務 責 任 者 ) 、 管 理 本 部 長 代 行 、 管 理 本 部 企 画 ・ 財 務 部 門 、 営 業 本 部 事 業 部 門 統 括
取 締 役 副 社 長	境 野 皓 造	営業本部長
取 締 役 副 社 長	ラ ン ド ー ル ジ ェ イ ツ シ ュ ワ ル ツ	技術本部長、商品企画部門分掌
常 務 取 締 役	望 月 義 人	営業本部事業部門中国事業部執行担当
常 務 取 締 役	筒 井 宏 昌	技術本部生産部門統括
取 締 役	鈴 木 浩	品質保証部門、商品企画部門、営業本部営業サポート部門統括、品質保証部門品質保証部、市場サービス部執行担当
取 締 役	細 井 行	営業本部事業部門統括代行、管理本部企画・財務部門経営企画部、事業推進部、広報部執行担当
取 締 役	木 内 資 雄	管理本部管理部門統括、総務人事部、いすゞ病院、システム企画部執行担当
取 締 役	只 木 可 弘	技術本部開発部門統括
常 勤 監 査 役	稲 田 熙	
常 勤 監 査 役	上 家 道 夫	
監 査 役	長 島 安 治	弁護士
監 査 役	乾 忠	

(注) 1. 監査役のうち長島安治および乾 忠の両氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

2. 平成16年4月1日付にて、取締役の担当又は主な職業が、以下のとおり変更されました。

地 位	氏 名	担 当 又 は 主 な 職 業
代 表 取 締 役 代 取 締 役 副 社 長	ベ イ ジ ル エ ヌ ス ド ロ ッ ソ ス	営業本部長

地 位	氏 名	担 当 又 は 主 な 職 業
取 締 役 副 社 長	境 野 皓 造	社 長 補 佐
取 締 役 副 社 長	当 麻 茂 樹	C F O ( 最 高 財 務 責 任 者 ) 、 管 理 本 部 長

貸借対照表（平成16年3月31日現在）

資 産 の 部	負 債 の 部																
百万円	百万円																
	<table> <tr> <td>流 動 負 債.....</td> <td>403,123</td> </tr> <tr> <td>支 払 手 形.....</td> <td>41,616</td> </tr> <tr> <td>買 掛 金.....</td> <td>134,903</td> </tr> <tr> <td>短 期 借 入 金.....</td> <td>125,327</td> </tr> <tr> <td>コマーシャル・ペーパー.....</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>一年以内償還の社債.....</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>未 払 金.....</td> <td>21,318</td> </tr> <tr> <td>未 払 法 人 税 等.....</td> <td>1,227</td> </tr> </table>	流 動 負 債.....	403,123	支 払 手 形.....	41,616	買 掛 金.....	134,903	短 期 借 入 金.....	125,327	コマーシャル・ペーパー.....	1,800	一年以内償還の社債.....	15,000	未 払 金.....	21,318	未 払 法 人 税 等.....	1,227
流 動 負 債.....	403,123																
支 払 手 形.....	41,616																
買 掛 金.....	134,903																
短 期 借 入 金.....	125,327																
コマーシャル・ペーパー.....	1,800																
一年以内償還の社債.....	15,000																
未 払 金.....	21,318																
未 払 法 人 税 等.....	1,227																

損益計算書（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）

営業 損益 の 部	百万円
	売上高..... 890,336
	売上原価..... 730,395
	販売費及び一般管理費.....92,945
営業利益.....66,995	

v



8. ヘッジ会計の方法
  - 為替予約及び通貨オプション...振当処理（要件を満たしていないものを除く）
  - 金利スワップ.....繰延処理または金融商品に係る会計基準に定める特例処理
9. 繰延資産の処理方法.....支出時に全額費用として処理する方法を採用している。
10. 新株予約権付社債の処理方法
  - 代用払込みの請求があったとみなす新株予約権付社債のうち、転換社債と経済的実質が同一と考えられるもの.....一括法
11. 消費税等の会計処理方法...税抜き方式

[ 追加情報 ]

1. 事業用土地の再評価

「土地の再評価に関する法律の一部を改正する法律」（平成11年3月31日公布法律第24号）に基づき、事業用土地の再評価を行っている。この評価差額のうち、当該評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、~~これを控除し、~~ 事業用土地の公債リ9% . y u h 井欄 w る務 日 額 所 株 妹 等 の 割 制 テ 8 v 等

繰延税金負債（固定負債）	
株式等評価差額金	2,468百万円
繰延税金負債（固定負債）合計	2,468 "
繰延税金負債（固定負債）の純額	2,468 "

(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった

主要な項目別の内訳	
法定実効税率	40.0%
（調整）	
土地再評価差額金の取崩	2.7%
評価性引当金の増減等	65.7%
臨時特例企業税	3.8%
外国源泉税	3.6%
その他	0.4%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	20.6%

[ 貸借対照表に関する注記 ]

- 子会社に対する短期金銭債権 90,076百万円  
子会社に対する短期金銭債務 33,155百万円  
子会社に対する長期金銭債権 52,239百万円  
子会社に対する長期金銭債務 2,614百万円
- 有形固定資産の減価償却累計額 479,489百万円
- 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として自動車製造用設備、金型の一部及びコンピューターがある。
- 担保に供している資産

建 物 33 蜷 建 物 9 j

## 損失処理案

当 期 未 処 理 損 失 .....	82,953,747,279円
---------------------	-----------------

これを下記のとおり処理いたします。

任意積立金取崩額

固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 取 崩 額 .....	7,671,969,739
-------------------------------	---------------

特 別 償 却 準 備 金 取 崩 額 .....	4,371,428
---------------------------	-----------

次 期 繰 越 損 失 .....	75,277,406,112
-------------------	----------------



## 監査役会監査報告書謄本

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成15年4月1日から平成16年3月31日までの第102期営業年度の取締役の職務の執行に関して各監査役から監査の方法および結果の報告を受け、協議の上、本監査報告書を作成し、次の通りご報告いたします。

#### 1. 監査役の監査の方法の概要

各監査役は、監査役会が定めた監査の方針、業務の分担等に従い、取締役会その他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聴取

# 議決権の行使についての参考書類

1．総株主の議決権の数 869,579個

## 2．議案および参考事項

### 第1号議案 第102期損失処理案承認の件

損失処理案は、「添付書類」（22頁）に記載のとおりであります。

当期は利益を計上することができましたものの、前期繰越損失もあり、当期の配当金につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、前期に引き続き無配とさせていただきたいと存じます。

また、損失の処理につきましては、当期末処理損失82,953,747,279円に、固定資産圧縮積立金ならびに特別償却準備金全額の取崩しを行い、75,277,406,112円を次期繰越損失といたしたいと存じます。

なにとぞ、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

### 第2号議案 定款一部変更の件

#### 1．変更の理由

「商法及び株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律の一部を改正する法律」（平成15年法律第132号）により、定款の定めに基づいて





候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴および他の会社の代表状況	所有する当社の株式の数
3	筒井 宏 昌 (昭和20年11月28日生)	昭和43年4月 当社入社 平成8年6月 当社取締役就任 平成11年4月 当社常務取締役就任、現在に至る	40,000株
4	鈴木 浩 (昭和22年2月28日生)	昭和44年4月 当社入社 平成10年4月 当社GM業務室担当兼GM業務室長兼購買業務室長 平成10年6月 当社取締役就任 平成12年6月 当社取締役退任 平成12年6月 自動車部品工業株式会社代表取締役副社長就任 平成14年5月 同社取締役退任 平成14年6月 当社社長室・品質保証室統括兼社長室長 平成14年6月 当社取締役就任、現在に至る	30,000株
5	細井 行 (昭和24年8月9日生)	昭和48年4月 当社入社 平成10年12月 当社経営企画室長 平成12年4月 当社国内管理室、RV担当室、中古車担当室、国内企画室、国内サービス・部品事業室担当 平成12年10月 当社国内企画室、RV担当室、中古車担当室、国内サービス・部品事業室担当 平成13年5月 当社国内企画室、国内サービス・部品事業室担当 平成13年10月 当社企画・財] %953	

候補者 番号	氏 名 (生年月日)	略歴および他の会社の代表状況	所有する当社 の株式の数
-----------	---------------	----------------	-----------------

昭和44年4月 当社入社

6 木内資雄  
(昭和21年9月24日生)





